



ひだまり

さくら千手園 佐倉市青菅 1019 043-462-2008
木の宮学園 佐倉市青菅 1051 043-463-1008
レインボー 佐倉市青菅 1051 043-463-1128

sakurasenjuen@deluxe.ocn.ne.jp
kinomiya@green.ocn.ne.jp
s-rainbow@smile.ocn.ne.jp

目次

| | |
|----------|---|
| 散歩道 | 1 |
| さくら千手園 | 2 |
| 活動紹介 苗処 | 2 |
| 親子日帰り旅行 | 2 |
| 千手園日記 | 3 |
| 木の宮学園 | 4 |
| 活動紹介 陶芸班 | 4 |
| ボランティア講座 | 4 |
| 木の宮日記 | 5 |
| 千手会フェスタ | 6 |
| アプローチ | 7 |
| 情報フラッシュ | 8 |

総合防災訓練



散歩道

昔から「地震・雷・火事・親父」「災害は忘れた頃にやってくる」「マッチ一本火事の元」災害は弱点を狙って来る。日頃から恐ろしい地震等に対処すべき防災訓練は、佐倉市八街市酒々井町消防組合「志津消防署」交通防災課・消防団・保護者会・地域住民等、多くの関係者の参加により今年も整齊と行われ職員・利用者も真剣に訓練に参加した。

当日は1日防災行事で午前は消防署から講師を招いての防災講話、引き続き施設開所以来初めての煙ハウスのスモーク体験、午後は昨年に続きAEDの講習会を全員真剣に受講した。後半は例年実施している消火器の取り扱い消火訓練・スプリンクラーの端末テストの見学等日中の行事が盛り沢山実施した。

夜間の避難訓練は天候にも恵まれ昨年同様の想定で訓練開始。関係者等で本番さながらの訓練を深夜まで実施した。特に消防団員が職員に先駆けて利用者の救出・避難誘導に汗を流してもらい大変助かった。中でも地元消防署から事前訓練に3回も来園して現地偵察を重ね利用者の安全について検討した。お陰様で昨年の避難訓練より5分も早く避難が完了する等、日頃からの訓練の賜と感謝している。深夜まで真剣に訓練に参加した多くの皆様に重ねて感謝し、18年度の総合防災「共同」訓練は大いなる成果を残し無事に終了した。

今回もこの訓練を取材した北総読売・地元ケーブルテレビ296が訓練を取材し広く市民に広報した。深夜まで熱心に訓練参加された皆様に暑く御礼と感謝を申し上げ終了所見と致します。

さくら千手園

苗処

利用者8名、苗処では今年度より、腐葉土作りを中心に千手園前のビニールハウスの中で活動しています。

活動内容としてはまず、落ち葉拾いからです。千手園の周辺には落ち葉が沢山あり、散歩がてら拾いにいきます。その落ち葉に水を掛けて、しっとりしたらよく踏んで保管します。半年から1年掛けて、良い具合の腐葉土が完成します。落ち葉に水を掛ける方、落ち葉を踏む方など、各工程に分けて、利用者の出来る事を見つげながら、無理のないように楽しく活動を行っています。

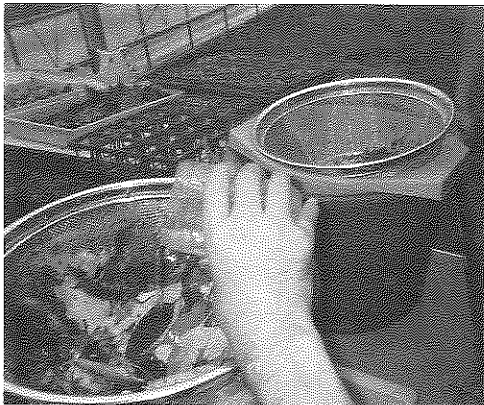
また、しいたけの栽培も行っていきます。上手に原木に水をかけている方や、原木の天地換えなどを主に行う方など……立派で、美味しいし

いたけを作る事に励んでいます。

自然に囲まれた環境の中、のんびり作業を行うグループの中で雨の日や寒暖の激しい時期などは、散歩やドライブに出掛いたり、ホール棟でボール遊びなどをしています。

今後も利用者を中心に、楽しく活動が出来るように頑張っていきたいと思えます。

(小川幸)



親子日帰り旅行

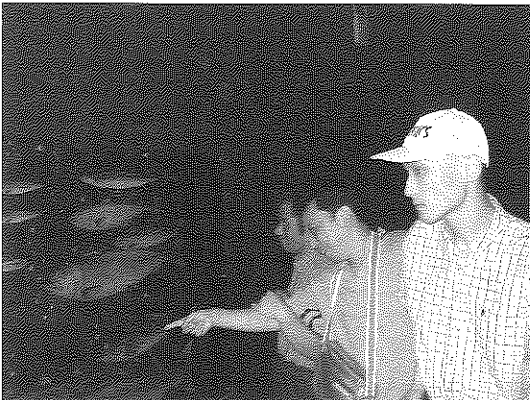
7月7日金曜日、茨城・大洗方面へ親子日帰り旅行に行ってきました。何日も前から、「私1号車」「お寿司食べたい」と、ドキドキワクワクしている様子。待ちに待った当日は予報に反し、雨も降らず、暑くも無く天候に恵まれ、いざ出発。

バスの中ではカラオケ大会が始まったかと思うと、あつという間にお菓子博物館へ。昔のお菓子や世界のおやつに目を見張る人、すぐにお菓子のお店に向かう人と、様々でした。次は皆が1番楽しみにしていたお寿司の食べ放題。テレビチャンピオンでおなじみの寿司職人が腕によりを掛けて握ってくれます。「美味しいね」「イクラも食べたいな」等、ついつい、何皿も食べてしまっていました。お腹がいっぱいになったところで、アクアワールド大洗へ。まずは、

イルカ達とアシカがお出迎え。大ジャンプや輪くぐり。ポールまで器用に使い遊んでいます。その芸達者ぶりに大盛り上がり。拍手喝采でした。その他、マンボウやペンギン、ラッコにも出会い、皆さん大満足でした。

園に戻ってからは、「お寿司美味しかったね」「イルカ凄かったね」「また来年もいきたいなあ」等、とても嬉しそうに話していました。

(保谷)



アクアワールド大洗にて

千手園日記

チョー気持ちいい〜!

夏真っ盛りの8月3日、軽井沢へ1泊2日に出掛けてきました。電車好きと温泉好き、そして買い物好き(ちなみに職員は美味しい物好き)が集まって、電車で揺られて約5時間後には空気の澄んだ軽井沢に到着!ところがホテルまで更にバスで40分。乗り物好きにはたまりません。山を越えて着いたのは緑の綺麗なホテルグリーンプラザ軽井沢でした。源流掛け流しの温泉には、K・Kさんを始め一同「気持ちいい〜」の一言で

夏真っ盛りの8月3日、軽井沢へ1泊2日に出掛けてきました。さて、温泉の次は夕食です。ホテルのバイキングは余りにも種類が多く、ご当地食材が目が眩み、それぞれ食べたいものを満足するまで食べる事ができました。2日目はホテルを出て近くのお店で真剣にお土産を選んだ後ショッピングプラザを散策し、軽井沢の景色を目に焼き付けて新幹線に乗りました。軽井沢最高です。

(辻村)

都の都

夏の暑さが際だち始めた7月下旬、都の都仙台へ男性7名でぶらりと出掛けてきました。目的もさることながら、旅の1番の目的は電車に乗る事。地元京成線を楽しみながら、上野からは皆が楽しみにしていた東北新幹線へ乗り込みます。電車での食事と言えば、やっぱり駅弁。勢いよく流れていく景色もそこそこに、目の前の弁当を頬張っていました。宿舎へ向かう前に少し足を伸ばして松島湾を遊覧船でクルージング。夏休み前の松島は貸し切り状況。夏休み前の松島は貸し切り状況した。(永瀬)

夏の暑さが際だち始めた7月下旬、波で船がゆれる度に、楽しげな声が上がっていました。夕食はもちろん牛タン!食事中は会話をする間を惜しんで、地元ならではの厚切り牛タンを堪能しました。

1泊2日の短い旅行でしたが、皆よく食べ、よく眠り、そしてよく笑った楽しい仙台旅行でした。



房総方面

生憎の曇天模様。空の下、それでも一行12名の心は晴れている。そう、今日は房総方面への旅行。美味しい海の幸が我々を待っている。まずは富津で昼食。何気なく入った港へ続く小道にあった一軒の定食屋。『貝柱炒飯』『アサリラーメン』『穴子天井』の看板に心を躍らせ店に突撃。井からはみ出た穴子の天麩羅。アワビまで入っていたアサリラーメン。どれも満足の一品でした。雨天の為予定を変更し、TEPCOへ見学に。我々を出迎えてくれたのは『新エネルギー』戦隊ハツデンジャー!これにはみんなの

目も釘付け。I・Sさんは満面の笑みで見入っていました。翌日、天気も回復した。絶好の観光日和。南房パラダイスで動物と戯れました。途中、Y・Wさんが羊の群に襲われる一幕もありましたが(原因は大事に抱えていたお土産のサブレット)皆の笑顔が旅行の成功を物語っていました。

(新井大)



木の宮学園

陶芸班

現在は和陶芸を中心に活動しています。主な活動内容は、粘土を紐状に伸ばし積み重ねていく輪積み、粘土を切ったタタラを板状に伸ばしスタンプや櫛で模様付けして作る手法があります。そして一度素焼きをし、釉という薬をかける釉がけの作業、次に本焼き。焼き上がった作品の底を紙やすりで削り滑らかにしてようやく完成です。

作品の種類には平皿、小鉢、花瓶、販売で人気のある箸置き、一輪挿しなどがあります。その他では作業用材料の買物、値札の作成や作品の包装を行ったりしています。またキャンドル作り、以前使用していた西洋陶芸を和陶芸に生かした作品作り、植木鉢やワインクーラー：等々利用者と共にアイデアを出し合い様々な新作品にも力を入れていきます。

今年度は9月に利用者からの強い要望で幕張某ホテルのバイキン

グという一日外出が実現しました。今後も機会があれば班外出も検討していくつもりです。

個々の得意分野を生かし、個々のペースで長い作業工程を経てようやく形としてこの世に誕生する作品達は、世界に一つのオリジナリティ溢れる物ばかりです。職員は彼らのそんな感性が存分に発揮できるような雰囲気作りを目指し、支援しています。

(市川ゆ)



ボランティア講座

「ボランティア講座を担当して」

今年の4月から働き始めて、三ヶ月が経ち、大きな仕事のひとつとして、ボランティア講座を担当しました。大学を卒業して間もない私が講師として話をして良いものかという不安を抱きながら『ボランティアとは何か』、『地域福祉とボランティア』という題材を取り上げ話をさせて頂きました。

参加してくださった皆さんは、

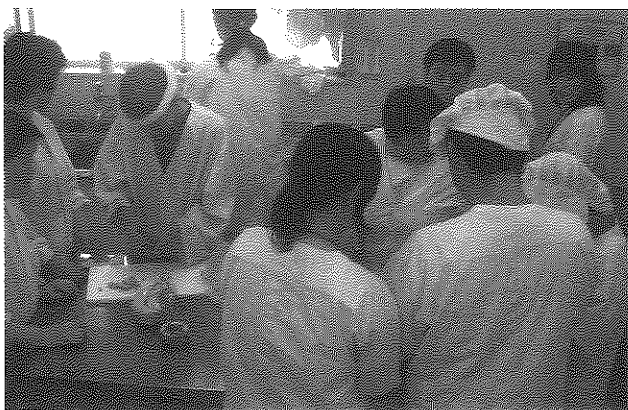
とっても熱心に話を聞いて下さり、積極的に利用者の方々と触れ合っていました。利用者の皆さんも講座に参加して下さった皆さんも心から楽しんでいる様子が伺え、初めてボランティア講座を担当した私はホッとしました。

地域で生活するにあたり、障がいの有無・性別・年齢に関係なく「支え合うことの大切さ」を改めて実感しました。人は一人では生きていけないとよく言われます。しかし、そのことを実感する機会は少なく、普段の何気ない生活の中でたくさんの人々に支えられていることを私自身が再確認しまし

た。ボランティア講座に参加して下さった皆さんもアンケートの感想の中にそのような内容の意見を多く書いて頂けたので、私が伝えたいと思ったことが伝えられて良かったと思います。

今後もボランティア講座を通じて多くの方に「障がい者」の理解を深めて頂けたら幸いですと思えます。

(館野)



お菓子作り



3回落ちるらしいよ...

今回の外出の目的は何と言っても新しくお目見えした『タワーオブテラー』に乗ることです。フリーフォールタイプのアトラクションなので、実際の外観を見た時は建物の高さに皆見上げたまま絶句していました。Iさんが「あれに乗るんだ。かなり恐そうだね。」とポツリ。その時建物の最上階の窓が開き落ちる瞬間のお客さんの反応が丸見えに…周りの人の「3回落ちるらしいよ。」「すごい高いみたい。」との話をIさんとNさんが聞いてしまいそのまま無言となってしまいます。いざ中に入りエレベーターの様な部屋で席に座ると途端に急上昇!一気にタワーの最上階に押し上げられると窓が開き、デイズニーシーの景色が一望に見下ろせる状態に。「すごい高い。でも綺麗だな…」と思った瞬間に足元に抵抗がなくなり一気に1階まで落とされ「うおお!」「怖い〜」と皆で絶叫!それが3回繰り返されてヘトヘトになって降りて来ました。それでも終わってしまえば元気なもので、落ちた瞬間の写真を見ながら「もう一度乗ろうか?」と言っていました。(小石)

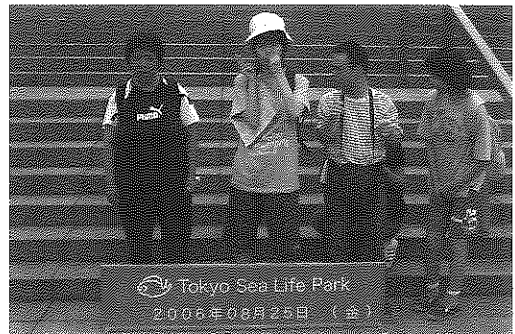
木の宮日記

連日続く真夏日のつかの間の曇り。葛西臨海公園へと出かけました。現地に着くとさっそく昼食。メニューの写真を見ながら「これ」と指差し決定。ゆつくり食べました。お腹も一杯になり、水上バスでお台場をめぐるクルージング。何もない景色から工場地帯、お台場ホテルや観覧車へと移りゆく様子をくいているように見る人、笑って見る人とそれぞれに楽しんでいきます。のんびり過ごした後は葛

葛西遊記

西臨海公園水族園へ。中に入るとマグロ群泳が目の前に。「大きいね」「すごい」と言いながら目を輝かせて見入っています。鮮やかな魚達と人込みを横目にペンギンのゾーンへ。気持ち良さそうに泳ぐペンギンや横になるペンギンをしばし眺め小休憩。帰りの高速ではバスに手を振ったりと大忙し。楽しい外出だったようです。

(新井真)



秋を感じて



秋の風を感じながら利根川沿いを走り、成田ゆめ牧場に着きました。まずはパーベキューに舌鼓を打ちまして、腹を満たして散策開始。夏の終わりに生まれたヤギやヒツジと遊んでいると、いつの間にかやらかくのヤギに囲まれていて、ちよつと恐くなりました。その後も散策を続けていると、薄紅のコスモスが秋の日の何気ない日溜まりに：と思ったところで、おやつになってアイスクリームを食べまして、ゆつくり味わっていました。みなさん御存知でしたか?ゆめ牧場のミニSSLの音が、ハウルの動く城の動く時の音だったんですって!「豆知識」

(仲田)

はじめに

平成18年度の千手会行事は変更がありました。8月に毎年実施していましたが、10月に実施していただきました木の宮フェスティバルが合同となり、千手会フェスタ2006と生まれ変わりました。第1回の行事となり、利用者・家族・職員、期待に胸をふくらませ、混乱と困惑の中フェスタの準備をしてきました。



イベント

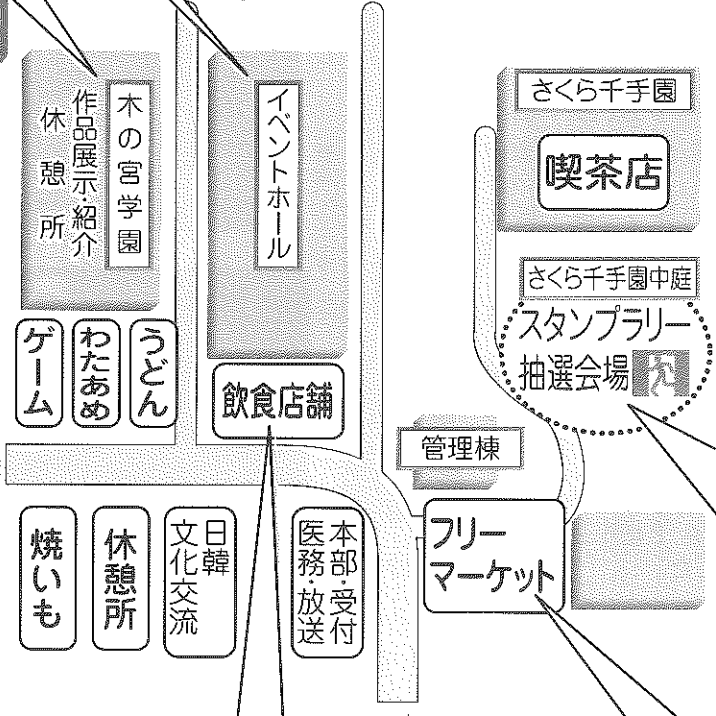
井野中学校吹奏楽部による演奏、コールフリーゲルによるコール、東京成徳大学軽音サークルによるライブと年齢を超えた音楽に皆、足を止め思い思いに楽しんでいました。

千手会フェスタ2006

佐倉勇翔太鼓、イ・チャンソプサムルノリ太鼓と日韓の太鼓演奏を皆、肌と耳で感じていました。食堂では喫茶ひだまりがオープンしておりパウンドケーキ（提供ねむの木）とクッキー（木の宮学園）を口いっぱい頬張っている姿が

ありました。スタンプラリーではスタンプの場所を必死になって職員に聞いてくる家族の方もおり喜んでそろえている場面が見られました。抽選会場では長蛇の列ができ、持ちきれないほどの景品を抱えラーメンを食べている一幕も

千手会フェスタ2006



木の宮学園

千手会を利用していらっしゃる方の作品・絵画・写真展示を行い、木の宮学園前ではゲーム（ボールレース・ヨーヨー・ボウリング）をボランティアとほのぼのと楽しむ幕も…

エンディングでは木の宮学園の前で八幡台ロックソンググループによる踊りを利用者と一緒に行い、「どっこいしょどっこいしょ」の掛け声とともに華やかに終わることができました。

フリーマーケット

福祉関係からオリブハウス・ねむの木・明朗塾・木の宮学園家族会が参加。地域団体からボーイスカウト佐倉4団・花工房リベ・日韓放送文化交流協会が参加。アイスを食べながら、おみやげにパウンドケーキと野菜と韓国海苔を抱えている方や、衣装や雑貨の店舗から離れない方がいるほど大盛況でした。

飲食店舗

厨房職員を中心に全職員が一丸となってこしらえた「スパイシーポテト・カレーライス・ラーメン・唐揚げ・たいやき・飲み物」。千手会で収穫した焼き芋。ボランティア参加の手打ちうどんと綿あめ。どれもこれも、おいしく頂きました。しかし、綿あめは機械の故障のため食べることができず、皆から残念の声が聞こえてきました。

おわりに

最後になりましたが、千手会フェスタ2006にご協力して頂いた、フリーマーケット・飲食関係・イベント関係者様、物品借用関係者様、近隣の皆様、ボランティアの皆様、利用者・家族・職員の皆様にこの場を借りて厚くお礼申し上げます。（島田）

Approach

アプローチ=接近する・研究方法

法人の今後の取り組みについて

● 本法人は、本年11月18日
で満20年を迎えました。こ

の間、ノーマライゼーションの理念に基づき人間としての尊厳や人権を守り、個々の暮らしやライフステージを大切に支援活動を続け、生きがいを実感できる環境づくりに努めてきました。しかし、この度の障害者自立支援法の施行により利用者への支援のあり方が見直されることになり、本法人が今後とも障害福祉サービスを安定的かつ継続的に提供していくためには、サービス事業の再構築が必要となります。

【現状について】

● ここですでに始めに、現在本法人が行っている障害福祉サービス事業を紹介いたしますと次のとおりです。

《第一種社会福祉事業》

● 知的障害者入所更生施設
さくら千手園(定員56名)

● 知的障害者通所更生施設
木の宮学園(定員50名)

《第二種社会福祉事業》

● 障害福祉サービス事業
「さくら千手園短期入所事業」
定員6名

● 相談支援事業

「レインボー・障害者相談支援事業、障害児等療育支援事業」

● 移動支援事業

「木の宮学園」
《公益事業》

● さくら千手園日中一時支援事業(定員2名)

● 木の宮学園日中一時支援事業(定員5名)

● 木の宮学園パーソナルサポート事業

【課題について】

● この内、平成18年10月より第二種社会福祉事業と公益事業の一部は新事業体系に移行しましたが、第一種社会福祉事業の「さくら千手園と木の宮学園」をどのような新事業体系に移行するかが、今後の大きな取り組みになります。



クラブ活動(絵画クラブ)

① 両施設とも利用者は障害認定区分の高い方が多く、新事業体系に移行する場合には殆どの利用者は生活介護(障害認定区分3以上・50才以上は区分2以上)になると推測いたします。即ち日中活動支援は生活介護事業を基本として組み立て現施設を利用しますが、それを利用できない方々の日中活動をどのようにするかという課題があります。

② 次に、障害者自立支援法の施行に伴い、現在の入所施設の体系が日中活動支援と夜間・休日支援に分離されます。さくら千手園の利用者の多くは、施設入所支援(障害認定区分4以上・50才以上は区分3以上)を現施設で利用できますが、その支援の対象外となる利

用者が一割以上いると推測します。本来、在宅支援でも頑張れる利用者もいますが、家庭的な理由により家族などと一緒に暮らすことが困難な利用者が施設入所しているのが現状であり、今後この利用者の生活していく住居場所をどのように確保していくかという課題があります。

③ また、社会的地位の低さや激務に対しての俸給の安さなどの原因で、職員採用が困難になってきている課題もあります。

【今後の取り組みについて】

● 前述の課題を基に理事会、評議員会で検討した結果、①の日中活動支援の解決方法は、生活介護事業の他に就労継続支援事業(B型)や地域活動支援センター事業への取り組みを行います。次に、②の施設入所支援の解決方法は、共同生活介護事業を行うためにケアホーム(当初定員5名)を建設します。また、③の課題については、法人内で出来る職員配置、勤務体制や給与・賃金の改定を行います。今後とも利用者が安心して生活できるよう努めてまいります。

(理事長 恵下 均)

ご寄付に感謝いたします

千手会フェスタにご支援・ご参加いただきました皆様に御礼申し上げます。

お世話になりました

倉次和子様(第三者委員)

バザーの御礼

虹の会のバザー 木の宮学園虹の会子供達が心待ちにしていた千手会フェスタ当日は、絶好の秋日となり、私達親の会も張り切って早朝からバザーの準備にとりかきました。オープンと同時に大勢の方がバザーテントを覗いて、可愛らしく並べられた品物を手に取ってくれ、そしてそれぞれ気に入った品を買ってくださいました。事前の準備から片付けと大変ですが、たくさんの方々のおかげで、私達にとっても楽しい一日でした。



行事予定

11月

- 2日 ニード別外出⑩紅葉・グルメ (⊕)
- 2日 個別外出 日帰り温泉 (⊕)
- 4日 手をつなぐスポーツの集い (⊕)
- 17日 ニード別外出⑪電車でGO (⊕)
- 22日 ニード別外出⑫グルメ・温泉 (⊕)
- 24日 家族懇談会 (⊕)

12月

- 5日 さわやか芸能発表会 (⊕)
- 14~15日 個別外出 箱根 (⊕)
- 15日 ニード別外出⑬パーク・グルメ・のんびり (⊕)

1月

- 20日 千手会 新年会 (⊕)
- 21日 ゆうあいピック 駅伝大会 (⊕)

2月

- 15~16日 個別外出 房総 (⊕)

⊕: さくら千手園 ⊕: 木の宮学園

編集後記

早いもので平成18年度も後半に入りました。10月1日からは、事業体系が一部変更になり、私達、千手会職員も一つひとつの事項や内容を確認しながら毎日の仕事に励んでおります。とはいえ、細かい部分についてまだ理解できていない所もありますので、日々の中で、また勉強会などを開催していきます。今後ともよろしくお願致します。(海老澤)

ごあいさつ

新任 第三者委員 浦 洋子



私は、9月から千手会の苦情解決委員会の第三者委員として、利用者やご家族の方々とお話しする機会をいただく事になりました。みなさんのお声に耳を傾け、御一人御一人とゆっくりお話を聞くことに専念したいと思っています。

4月からの障害者自立支援法の施行で不安や疑問がいろいろおありになるとうかがっています。みなさんと一緒に勉強し、ともに考えていきたいと思っています。よろしくお願い致します。障害のある人も、ない人も、1人の人間とし尊重され、その人らしく生きていくことができる地域社会づくりを佐倉市では進めています。私も地域社会の1人としてこのお仕事を通して参加できることを願っています。

ごあいさつ

退職 木の宮学園支援課 森 文江



専門学校を卒業し、すぐに社会へ入ったのがこの千手会であり、木の宮学園でした。右も左も解らず諸先輩方、そして御家族の方に色々お教え頂き、本当にありがとうございました。この12年と半月でしたが、今思えば「あっ」と言う間で思い出せば、楽しいことばかりでした。特に、利用者の方々とは一緒に様々な所へ行かせてもらいました。その中でも、一日目がディズニーランド、二日目がディズニーシーと、とてもハードなスケジュールでしたがこんなにも遊び回った事は無い程でした。

これから、2人目の子供も生まれてくるのでしばらくの間は子育て・家族に専念したいと思っています。又、学園に顔を出しますので声を掛けて下さいね。